

「宇宙利用の現在と未来に関する懇談会」について

1. 趣旨

今日、宇宙の開発・利用を巡り、国際競争が激化する一方、民間企業が急速に力をつけ、宇宙開発・利用を国が独占する時代が終焉を迎えている。

こうした中、我が国が引き続き宇宙活動の自立性を確保し、宇宙利用大国としての地位を維持・強化していくためには、官民を通じた宇宙開発・利用への一層の取組の強化が不可欠である。そのためには、宇宙に対する広く国民一般の理解と支持が極めて重要である。

また、コロナ禍の厳しい状況にある中、将来をしっかりと見据えて、20年後、30年後の社会がどうなるか、その中で宇宙が果たせる役割について、しっかりとした長期ビジョンを持つことも重要。

以上を背景に、宇宙開発・利用が現に国民生活にもたらしている便益や、ポストコロナの「ニュー・ノーマル」時代の社会システムにおける宇宙の貢献の可能性等について、ご意見をいただく場として、宇宙利用の現在と未来に関する懇談会（以下「懇談会」という。）を開催する。

2. 運営

- ・ 懇談会は原則、対面開催とする。構成員、ゲストスピーカー等の出席が難しい場合には、オンライン参加も認める。
- ・ 自由闊達な議論を促すため、原則として会議は非公開とする。
- ・ 議事内容の透明性を確保するため、資料及び議事要旨を速やかに内閣府ウェブサイトに掲載する。

3. 事務について

懇談会の事務は、内閣府宇宙開発戦略推進事務局が行う。